

学生のみなさまへ

ご相談をお待ち  
しております。

# よりよい学生生活のサポートのために 「合理的配慮」を、 活用してみませんか？

こんな **困** **っ** **た** はありませんか？



「合理的配慮」とは、病気や障害のある人の大学生活のしづらさを  
取り除くために、大学として実現可能な範囲で対応することです。

## 【合理的配慮の具体例】

- ・教室の座席の配慮
  - ・試験の別室での受験
  - ・階段への手すりの設置
  - ・課題発表や提出等への代替措置
- など

※対応可能かどうかは個別の事情によるため、対応を保証するものではありません。

# 手続きの「方法と流れ」

## についてご説明します。

合理的配慮を受けたい場合には、申請が必要です。また、手続きには、病気や障害を証明するものが必要です。必要書類を受付窓口へ提出した後、状況や希望について担当者からの聞き取りを経て、関係部署の担当者が協議し、大学としての判断をお答えする流れとなっております。

場合によっては、全てのご希望に添えない場合もございますが、その場合にも「どうしたら良いのか」一緒に考えることが出来ます。なお、聴き取った内容は、手続き以外で使用することはございませんので、安心してご相談ください。

### 【札幌大学における合理的配慮の手続きフロー図】

